

1. 学校関係者評価委員名

令和元年度 新和小・中学校運営協議会委員

【会長】 谷山二亮（新和まちづくり協議会会長）

【副会長】 田中省三（新和中学校PTA会長） 小山亮太郎（新和小学校PTA会長）

【委員】 上元富子（前主任児童員代表） 吉岡賢龍（新和町公民館長）

松下偉敏（新和まちづくり推進課長） 山川一幸（行政区長会長）

長田良信（社会福祉協議会新和支所長） 柳 圭子（「新和苑」評議員代表）

角平義明（天草市老人クラブ連合会新和支部長）

井上由博（新和駐在所巡査部長） 上原晴喜（新和駐在所連絡協議会長）

本田津枝子（ひだまり児童クラブ代表） 福岡得史（小宮地保育園長）

山川元子（食生活改善推進委員会会長）

2. 学校関係者評価

※数値は4段階評価

1 学校教育目標

○学校は、教育方針や教育目標などを地域に示している。 (3. 3)

- ・学校だよりやホームページ等で出されているので、分かりやすい。
- ・学校だよりを毎月出していただいているが、字が小さいので、両面にする等、見やすくしてもらえれば、地域とのつながりが大きくなるのではないか。

2 保護者・地域との連携

○学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めている。 (3. 3)

- ・学校だより、各種通信等で、学校の様子がよく伝えられている。
- ・学校メールやホームページをもっと活用できればいい。

3 学習指導

○学校は、分かる授業・丁寧な授業作りに努めている。 (3. 8)

○子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。 (3. 5)

- ・子どもの実態に合わせた授業が行われていた。
- ・一部、授業態度（姿勢）があまり良くない子どもがいて気になった。

4 学校行事

○学校の運動会・学習発表会等、学校行事が工夫されている。 (3. 5)

- ・合同運動会は、今年度の反省を生かしたものにしてほしい。
- ・学習発表会は、地域のことを調べ、発表してもらい、嬉しく思った。

5 情報の公開・発信

○学校が公開している教育活動（行事・授業等）は参加しやすい。 (3. 5)

- ・学校だより等で、行事について事前に知らせてもらえるので助かっている。
- ・運動会には、地域の人が参加できる種目を入れてほしい。

6 学校環境

- 学校では、校舎内外（花壇・掲示物等）が整理されている。 (3. 6)
- 学校の施設・設備は安全で、よく整備・管理されている。 (3. 5)
 - ・掃除等、よくできていると思う。
 - ・子どもたちの作品が掲示してあってよい。

7 道徳・心の教育

- 登下校中や校内で、子どもはよく挨拶ができています。 (3. 2)
 - ・子どもたちは、とても明るくて、良い教育が行き届いていると思う。

8 地域での子どもたちの様子

- 休みの時、地域での挨拶ができています。 (2. 9)
 - ・素直に育っていると思う。
 - ・元気に挨拶する子とそうでない子の差はある。
- 子どもは、危ない遊びや危険な場所で遊んでいない。 (3. 3)
 - ・小学校の裏の川で遊んでいたので注意しました。
- 子どもは、地域の活動や行事に積極的に参加している。 (3. 3)
 - ・地域行事等に、積極的に参加している。

3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

1 保護者・地域との連携、情報の公開

- ホームページの定期的な更新や学校メールによる迅速な情報発信等、効果的な活用を図る。
- 地域学校協働活動推進員との連絡を密にし、地域人材の発掘・積極的な活用を図る。

2 学習指導

- 児童が意欲をもって参加できる授業づくりに、学校総体として取り組むことができるよう、校内研修の充実を行う。
- 家庭学習の手引きをもとに保護者と連携をとり、家庭学習ノートの実践を進めるとともに、家庭学習の習慣化・学習内容の充実を図る。

3 学校行事・地域学習

- 保護者・地域と結びついた行事内容を考えていく。
- 地域の活動と連携し、学校から地域へと働きかける取組を行っていく。

4 環境整備

- 毎月の安全点検の確実な実施と安全管理を行うとともに、危険箇所等の把握と諸機関への迅速な連絡、適切な対応を行う。

5 子どもの姿

- 保小中連携カリキュラムを活用した共通実践を通し、家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の見直しを行う。
- 今年度の「あいさつ運動」の取組を継続していくとともに、地域や家庭での挨拶へとつながるよう、地域・家庭と一体となった取組を行っていく。
- 「新和っ子ならできる5つのABC」を徹底し、凡事徹底の意識化を図っていく。